

ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

桜の花びらが舞い散る4月8日に、多くの御来賓と保護者のみなさまに御臨席いただき、熊本県立熊本はばたき高等支援学校開校式並びに平成31年度入学式を挙行了しました。入学を許可した第1学年72名並びに、熊本支援学校高等部東町分教室から転入した第2学年19名及び、第3学年19名の計110名の生徒、そして46名の教職員により、熊本はばたき高等支援学校は開校しました。

熊本はばたき高等支援学校は、一人一人にあった自立と社会参加をめざす特別支援学校です。校名の「はばたき」には、この学校で学ぶ生徒たちが、将来の希望に向かって力強く「はばたく」ことの期待が込めています。はばたきを実現するために、本校の校訓を、「学ぶ」、「つながる」、「やり抜く」としました。さらに、校歌の一部にも校訓の三つのことばを取り入れました。

まず、「学ぶ」については、生活や働くために必要な内容を学び、実際に生かせることが大切です。さらに、自分らしく生きるためには、常に成長することが必要であり、そのためには、学び続けることが大切です。校歌の一番に「集う仲間と 限りなく 学ぶ喜び 語り合い」と記しました。熊本はばたき高等支援学校に集う生徒たちが、学びあう中で学ぶ喜びを知り、学び続ける力を培うことを願っています。

次に「つながる」です。これは、出会う人たちとよりよくつながりながら自分の役割を果たしていくことです。「働く」こともその一つです。つながるためには、協力することや、時間や決まりを守ることなどで、自分を整えることが必要です。また、コミュニケーションも大切です。校歌の二番に「感謝の気持ち伝えよう。みんなに笑顔広がって、はばたく自信を強くする」と記しました。「ありがとう」のことばがあると、みんなに笑顔が生まれます。出会う人たちを笑顔にして、つながりと自信が深めることを願っています。

三つ目は「やり抜く」です。これは、社会に参加することや働くことに意欲をもち、そのための目標を定め、達成に向けてやり抜くことです。目標達成に向けてやり抜くための原動力は、願いと希望です。校歌の三番に「希望に向かい まっすぐに自分を信じ 歩きだす。」と記しました。希望をもって、小さな一歩を積み重ねることで「やり抜く」ことを願っています。

校訓の実現により、社会にはばたく力と自信を高める学校生活を充実させたいと思います。応援をよろしくお願いします。